

7 - 3 日本被害地震地籍図

Map showing Disastrous Area of Historical Earthquakes in Japan

東京大学地震研究所 宇佐美 龍 夫
Tatsuo USAMI,
Earthquake Research Institute,
University of Tokyo

わが国の古くからの地震の震度VI以下の烈震域を地図上に示し、これを“被害地震地籍図”と呼ぶことにした。“地籍”とは地震の本籍というつもりである。それには、断層あるいは震源域を採用することが適当であるが、古地震では、震源域も断層も不明の場合が殆んどなので、震度VIの地域を採用した。この震度VIの地域は、震央を含み、余震域と重複する部分が多い。また、その面積は余震域の面積とほぼ同じか、数分の一程度である。

図には西暦416年から1973年までの被害地震をとり上げた。但し、太平洋沖の大地震、および陸上に震度V以上の地域のない地震は除いた。実線は震度VIの地域、点線は震度Vの地域を示す。点線は震度VIの地域が小さいか、ないか、あってもその境界を引けないが震度Vの地域の境界がはっきりしている場合に用いた。算用数字は地震の発生年で、アンダーラインのあるものは、震度VIの地域の存在が明らかな場合、あるいは推定される場合である。震度Vの地域も境界がはっきりしない場合は黒丸を用いた。三角は黒丸と同じであるが、震央の緯度・経度が考えられてない場合である。西暦年のアンダーラインの意味は前と同じである。

この図から次のことがわかる。

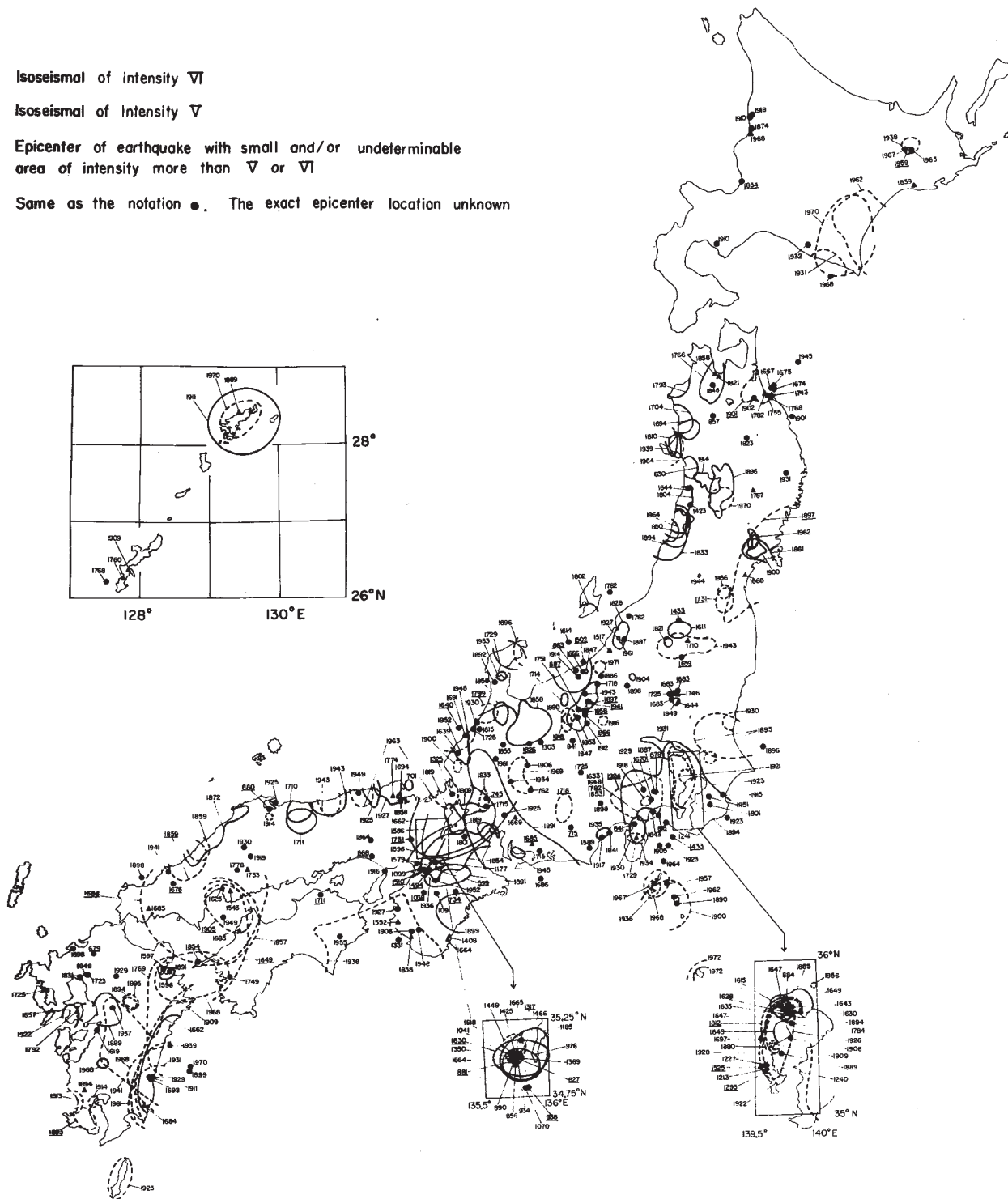
1. 震度VIを数回うけた地点は少ない。
2. 震度VIをうけたことのない地域が案外多い。
3. 日本海岸では震度VIの地域が、ほぼお互いに相接しながら北から南につづいている。

参 考 文 献

宇佐美龍夫（1975）：資料日本被害地震総覧，東京大学出版会

MAP SHOWING AREA OF INTENSITY LARGER THAN ∇ FOR
DISASTROUS EARTHQUAKE IN JAPAN (416 ~ 1973)

- Isoseismal of intensity ∇
- - - Isoseismal of Intensity ∇
- Epicenter of earthquake with small and/or undeterminable area of intensity more than ∇ or ∇
- ▲ Same as the notation ●. The exact epicenter location unknown



第 1 図 被害地震地籍図

Fig. 1 Map showing disastrous area of historical earthquake in Japan.